

津波に対する官庁施設の機能確保の考え方

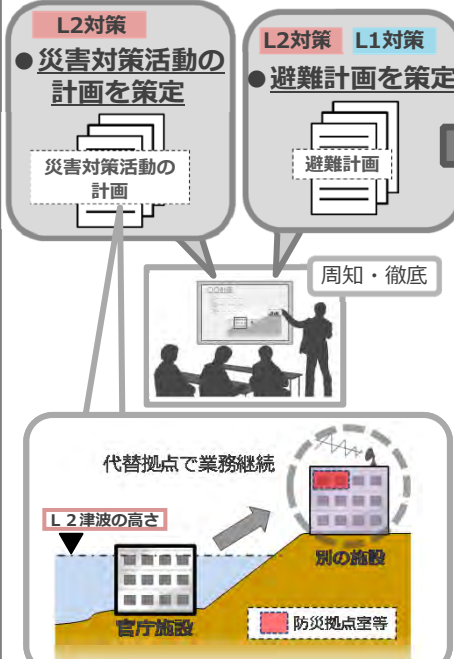
- ソフトとハードの一体的な対策によって
- 津波のレベルに応じた業務上の機能確保の目標を達成する

津波のレベル	機能確保の目標		
	利用者の安全	災害時の対策活動※	通常業務
● <u>最大クラスの津波</u> (レベル2津波(L2))	最優先で確保する	津波発生時も継続できる	・利用者の安全を最優先 ・通常業務の目標設定はしない
● L2より津波高さは低いものの <u>比較的発生頻度の高い津波</u> (レベル1津波(L1))			津波が引いたあと早期に再開できる

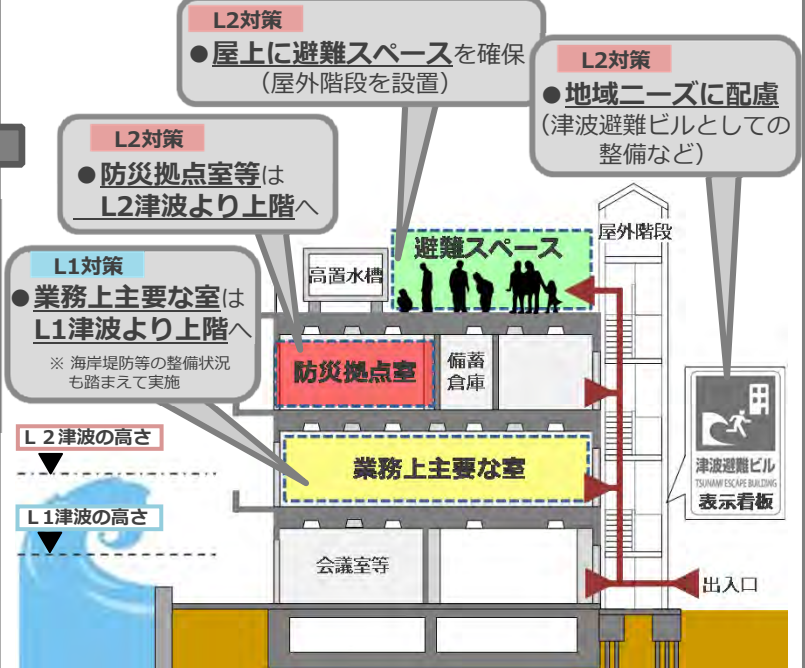
※「災害応急対策活動を行わない機関のみが入居する施設」は目標設定なし

<官庁施設における津波対策のイメージ>

○ソフト対策（施設管理上の対策）



●ハード対策（施設整備上の対策）



自治体等に対しても普及・浸透

災害時の「行政機能の維持」が可能に

- 情報収集
- 救難・救助
- 緊急輸送
- 保健衛生
- 避難勧告
- 消防・水防
- 応急復旧
- 社会秩序 etc.

減災、復旧に貢献